

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 10 日

事務事業名		ツール・ド・さくらがわ後援事業					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	030401000970
政策体系	政策体系上の位置付け						単独/補助	単独	所属課	090501
	総合計画の施策名	0304 生涯スポーツ活動の振興					主要事業	対象外		スポーツ振興課
	政策名	03	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				市長マニフェスト	対象外		
	施策名	04	生涯スポーツ活動の振興				未来PJ事業	対象外	グループ	スポーツ振興グループ
	基本事業名	01	スポーツをする機会の充実				合併建設計画事業	対象外		
財務会計上の位置付け							事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	06	01	02	01	保健体育総務事業			
法令根拠							単年度繰返し (平成13年度～)			
							➡ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) ○桜川市民を中心に構成されたツール・ド・さくらがわ実行委員会が企画運営しているサイクリングイベントで、平成13年から毎年5月に開催される。 ○サイクリングを通じて桜川市が有する水郷筑波国定公園に囲まれた豊かな自然環境や伝統的な町並みの歴史的景観を日本全国にアピールすることを目的としている。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 後援、ホームページ掲載、大会要項 (市長挨拶) 作成、市章使用許可手続き、交通規制打合せ、当日の立哨協力

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	
後援、ホームページ掲載、大会要項 (市長挨拶) 作成、市章使用許可手続き、交通規制打合せ、当日の立哨協力		開催回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	
スポーツサイクルを楽しんでいる人 桜川市民		桜川市人口	人	42,632.00	42,000.00	41,616.00	41,232.00	40,848.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	
サイクリングを通じて、桜川市の自然・魅力を感じてもらう		参加者数	人	578.00	600.00	600.00	600.00	600.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量（事業費）の推移				27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	0	0	0	0	0
			事業費計（A）	千円	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	
		述べ業務時間	時間	31.45	27.00	30.00	30.00	30.00	
		人件費計（B）	千円	91	78	87	87	89	
トータルコスト(A)+(B)			千円	91	78	87	87	89	

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)				29年度事業費 予算 (千円)			
			合 計	0			合 計	0

(4) 当該年度の実施内容		29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する				
・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業				

事務事業名	ツール・ド・さくらがわ後援事業	事務事業No.	30401000970	所属課	スポーツ振興課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
桜川市民を中心に構成されたツール・ド・さくらがわ実行委員会が企画運営しているサイクリングイベントで、平成13年から毎年5月に開催される。サイクリングを通じて桜川市が有する水郷筑波国定公園に囲まれた豊かな自然環境や伝統的な町並みの歴史的景観を日本全国にアピールすることを目的としている。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
参加者からのアンケートの結果によると、コースの走りやすさや案内誘導に9割の方が満足しており、リピーターは全体の6割以上になる。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	☒ 結びついている ・競技者間の交流、技術の向上、競技の振興という意図は生涯スポーツ社会を実現するための手段となっている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	☒ 妥当である ・スポーツを通じた交流人口の増加を図り、また、桜川市の自然や歴史的な街並みなどのPRにもなっているため妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	☒ 向上余地がない ・事業主体は民間の実行委員会である。市は後援となり、桜川市HP掲載や人的支援をしている。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	☒ 影響有 ・桜川市の交流人口が減り桜川市をPRする機会が減る、またスポーツする機会が減り、意図である競技者間の交流や競技の振興に少なからず影響がでる。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	☒ 余地がない ・類似事業はなし。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	☒ 削減余地がない ・協賛、後援団体の支援を受けて、完全自主運営のため経費削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
☒ 公正・公平である ・参加費を徴収し大会運営に充当しているため経費削減余地はない。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	・この事業は、主体は実行委員会であり、行政側は少しの人的支援である。スポーツを通じた交流人口の増加及び桜川市の自然や歴史的な街並みなどのPRにもなっているため今後も支援していく方向である。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う → ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 現状維持 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☐ A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☐